

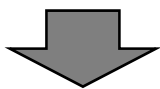
都市づくりの課題の整理（見直し案）

課題見直しのプロセス

プロセス①

都市づくりの視点で課題(大項目)を再整理(組み換え)

- ・全体構想(都市整備の方針等)との繋がりを意識し、課題(大項目)を組み換え



プロセス②

都市づくりの視点で課題(小項目)を再整理(組み換え)

- ・再整理後の課題(大項目)に合わせ、課題(小項目)を再整理



プロセス③

課題(小項目)の記載内容を検討

- ・都市を取り巻く環境の変化や課題見直しの留意点を踏まえ、

課題(小項目)の内容を検討

- … (1) 現計画を踏襲するもの
- … (2) 現計画で表現を見直すもの
- … (3) 都市を取り巻く環境の変化を踏まえ新たに追加するもの

全体構成の見直しのポイント

プロセス① 都市づくりの視点で課題（大項目）を再整理（組み換え）

- ・ 都市マスの全体構想では分野別に都市整備の方針を整理していくことになるため、全体構想に繋がるように都市づくりの視点で課題の再整理を行うこととする。

【都市づくりの視点】

土地利用

（土地利用、市街地、都市農地 等）

拠点整備

（新駅周辺整備、中心市街地 等）

道路・交通・ネットワーク

（高速交通、公共交通、道路、自転車 等）

居住環境

（都市施設、生活利便性、コミュニティ 等）

自然・歴史・文化

（水、緑、歴史・文化資源、景観 等）

防災・減災

（自然災害、地域防災 等）

全体構成の再整理

【都市づくりの課題（現計画）】

課題①海、まち、山(農地)が共生する、計画的な土地利用の推進

課題②魅力や個性を発揮し、まちの賑わいの再生・創出

課題③高速交通体系、情報基盤、人と人のネットワークによる交流・連携づくり

課題④コンパクトシティの概念に基づく都市構造の再編

課題⑤住まい環境や都市施設の計画的な整備

【都市づくりの課題の再整理（組み換え後）】

視点①：土地利用

課題①海、まち、山(農地)が共生する、計画的な土地利用の推進

視点②：拠点整備

NEW

課題②市民生活や地域経済を支える多様な拠点の形成

視点③：道路・交通・ネットワーク

課題③高速交通体系、情報基盤、人と人のネットワークによる交流・連携づくり

視点④：居住環境

課題④住まい環境や都市施設の計画的な整備

視点⑤：自然・歴史・文化

NEW

課題⑤自然環境や歴史・文化の保全・活用

視点⑥：防災・減災

NEW

課題⑥自然災害に対する安全性の確保

課題①の再整理

プロセス② 都市づくりの視点で課題（小項目）を再整理（組み換え）

- ・再整理後の課題（大項目）に合わせ、課題（小項目）を再整理

【都市づくりの課題（現計画）】

課題①海、まち、山(農地)が共生する、計画的な土地利用の推進

(1)海、まち、山（農地）、それぞれが持つ都市空間構成の役割を踏まえ、計画的な土地利用の調整

(2)森林の水源かん養の確保、また生物の生息・生育空間としての自然環境の維持・保全

(3)安定した水資源の確保、生活排水による水質汚濁の対策や、安全・安心な飲み水の確保など、良好な水環境の形成

(4)計画的な市街地整備の誘導を図るとともに、良好な自然環境を保全するなど環境に配慮した都市づくり

(5)低炭素都市づくりの推進、環境負荷の低減に配慮するなど、自然との共生に向けた取組

視点①：土地利用

課題①海、まち、山(農地)が共存する、計画的な土地利用の促進

視点⑤：自然・歴史・文化

課題⑤自然環境や歴史・文化の保全・活用

課題②の再整理

【都市づくりの課題（現計画）】

課題②魅力や個性を発揮し、まちの賑わいの再生・創出

- (1) 肥前大村藩の城下町、旧大村宿、旧松原宿に代表される賑わいや交流の場としての歴史的経緯、長崎街道の街なみなど、豊かな歴史・文化の活用
- (2) 大村湾や多良山系などの豊かな自然、「桜の名所百選」に選ばれた大村公園を代表とした四季折々の花・緑などの自然資源の活用
- (3) 自然景観の保全など、田園環境を生かしたまちづくり
- (4) 都市の生活利便性を支える機能、良好な暮らしを支える居住機能や地域のコミュニティなど、都市を支える機能の向上
- (5) 人々の価値観の変化、情報通信基盤の進展や日常生活圏の拡大など、多様化する都市開発に対し、地区特性を生かしたまちづくり方針の策定

視点②：拠点整備

課題②市民生活や地域経済を支える多様な拠点の形成

視点④：居住環境

課題④住まい環境や都市施設の計画的な整備

視点⑤：自然・歴史・文化

課題⑤自然環境や歴史・文化の保全・活用

課題③の再整理

【都市づくりの課題（現計画）】

課題③ 高速交通体系、情報基盤、人と人のネットワークによる交流・連携づくり

- (1) 県央地域としての地理的特性、長崎空港や長崎自動車道、さらには九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の開通による充実した高速交通体系を生かした多様な産業・交流の促進
- (2) 地域交流、都市間交流、国際交流を通じて、都市の付加価値の向上
- (3) 地理的特性や高速交通体系の利便性を生かし、県の産業機能の中核を担う都市づくり
- (4) 地区の特性を生かし、それぞれの連携を図ることによる、新たな活力の創出
- (5) 行政主導の都市づくりから、地域住民をはじめNPO等新たな活動主体との協働によるまちづくりへの展開

視点②：拠点整備

課題② 市民生活や地域経済を支える多様な拠点の形成

視点③：道路・交通・ネットワーク

課題③ 高速交通体系、情報基盤、人と人のネットワークによる交流・連携づくり

課題④の再整理

【都市づくりの課題（現計画）】

課題④コンパクトシティの概念に基づく都市構造の再編

- (1) 経済、業務、交通および歴史・文化など、大村市の中心的な役割を果たしてきた中心市街地において、蓄積された都市施設の有効活用と都市機能の集約による都市活力の再生
- (2) 国や県の土地利用方針を踏まえ、コンパクトな都市づくりに向けた都市構造の再編及び計画的な土地利用の規制・誘導
- (3) 少子高齢社会、高齢者に優しい都市づくりなど、都市を取り巻く社会・経済の変化に対応した、土地利用の規制・誘導や都市施設の整備
- (4) コンパクトな都市構造の再編と連携した公共交通計画の策定など、総合的な視点からの都市づくり
- (5) 交通、建物、通信、行政サービスなど、都市基盤施設の統合による、効率的な都市づくり
- (6) 厳しい行財政運営の中で、最小の公共投資で、最大の成果をあげる都市づくり

視点①：土地利用

課題①海、まち、山(農地)が共存する、計画的な土地利用の促進

視点②：拠点整備

課題②市民生活や地域経済を支える多様な拠点の形成

視点③：道路・交通・ネットワーク

課題③高速交通体系、情報基盤、人と人のネットワークによる交流・連携づくり

視点④：居住環境

課題④住まい環境や都市施設の計画的な整備

課題⑤の再整理

【都市づくりの課題（現計画）】

課題⑤ 住まい環境や都市施設の計画的な整備

- (1) これまでに形成された良好な都市環境を保全し、住む場としての個性を発揮
- (2) 県の中心的な居住の場として、大村市の特性である良好な住環境による定住拠点の形成
- (3) 道路の未整備区間の存在や公園の充足率の改善など、生活を支える都市施設の整備
- (4) 災害に強い都市、安全・安心な都市環境の形成、医療・福祉機能の充実など、住まいを支える付加価値の向上
- (5) 歩行者が快適に通行できる交通環境の整備、高齢者の移動手段の確保、ユニバーサルデザインに配慮した都市づくりなど、人に優しい都市環境の充実
- (6) 若年層の流出の抑制や都市活動を支える雇用の場の創出、安心して子どもを育てることのできる快適な都市づくり

視点③：道路・交通・ネットワーク

課題③ 高速交通体系、情報基盤、人と人のネットワークによる交流・連携づくり

視点④：居住環境

課題④ 住まい環境や都市施設の計画的な整備

視点⑥：防災・減災

課題⑥ 自然災害に対する安全性の確保